

India Weekly

2018年12月10日



(対象期間：2018/12/3～12/7)

【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2018年12月7日)



【株式市場】

週初は原油価格の急反発が重石となったものの、株式市場は小幅上昇しました。その後、5日の金融政策委員会を控えた警戒感から軟調となりました。政策金利は市場予想通り据え置かれましたが、6日は中国の大手スマートフォンメーカー幹部の逮捕を巡る米中関係悪化懸念からアジア市場が全面安となる中、インド株式市場も一段安となりました。7日は原油価格の下落などを受けて反発しましたが、週間では下落となりました。

2018/11/30	2018/12/7	変化率
36,194.30	35,673.25	-1.44%

【債券市場】インド本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2018年12月7日)



【債券市場】

週初は原油価格の急反発とルピー安を受けて、10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。5日の金融政策委員会では、政策金利は市場予想通り据え置かれましたが、インド準備銀行（中央銀行、RBI）が3月まで国債買い入れオペを継続する意向を示したことを受け、10年国債利回りは急低下（価格は上昇）しました。7日には同利回りは若干上昇しましたが、週間では低下となりました。

2018/11/30	2018/12/7	変化幅
7.607	7.464	-0.143

【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2018年12月7日)



【為替市場】

週初に原油価格が急反発した局面で、ルピーは対米ドルで下落しました。その後、原油価格が調整して若干反発しましたが、週間では下落となりました。また、円が対米ドルで上昇したことから、対円でも下落しました。

2018/11/30	2018/12/7	変化率
1.629	1.594	-2.11%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づき将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号ノ加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。